

環境データ

環境データ算出における信頼性向上のため、2025年度実績に対し第三者保証を受けています。[★：第三者保証対象指標]
*第三者保証(PDFリンク)

環境負荷データ

INPUT

		2023年度	2024年度	2025年度	
エネルギー消費量	GJ	2,107,997	2,229,707	★	2,326,962
原単位	GJ/億円	1,004	1,037	※1	—
電力 総使用量	MWh	345,968	365,784	★	386,229
再生可能エネルギー由来の電力	MWh	149,961	175,207	★	205,014
購入電力	MWh	149,499	174,515		204,293
自社による発電	MWh	461	692		721
非再生可能エネルギー由来の電力	MWh	196,008	190,576		181,215
再生可能エネルギー使用率	%	43	48		53
蒸気	t	6,400	5,947		6,543
重油・軽油・ガソリン	千L	895	822		810
天然ガス・都市ガス	千m ³	20,264	21,632		22,198
LPG・LNG	t	158	157		158
物質	t	15,217	14,100		13,859
原材料	t	13,043	※2 11,624	※2	10,926
化学物質	t	2,174	2,475		2,933
水資源 ※3					
総取水量	千m ³	4,368	5,097		5,377
水源別 上水道	千m ³	941	1,043		1,269
地下水	千m ³	3,428	4,054		4,109
リサイクル水量	千m ³	2,806	2,556		2,895
リサイクル率	%	39	33		35

集計範囲

新光電気グループ(国内+海外生産拠点)

端数処理により合計が合わない項目があります

- ※1 資本構成の変更に伴い、原単位算定に用いる財務数値が当社事業実態との比較に適さないため、2025年度の原単位は開示対象外
 ※2 算定精度向上のため、部材調達品の重量換算係数を適宜見直し。なお、データ入手の制約により、過去年度データの再計算は実施していない
 ※3 集計範囲は国内外全製造拠点および栗田総合センターとし、これ以外の国内非製造拠点は対象外

■OUTPUT

				2023年度	2024年度	2025年度
大 気						
Scope1		t -CO ₂		45,737	48,411	★ 50,542
原単位		t -CO ₂ /億円		22	23	※4 —
エネルギー起源		t -CO ₂		43,792	46,394	47,515
非エネルギー起源		t -CO ₂		1,945	2,017	3,027
	二酸化炭素(CO ₂)	t -CO ₂		32	21	19
	メタン(CH ₄) ※5	t -CO ₂		6	7	8
	四フッ化炭素(CF ₄)	t -CO ₂		1,110	1,251	1,755
	六フッ化硫黄(SF ₆)	t -CO ₂		579	621	605
	三フッ化窒素(NF ₃)	t -CO ₂		0	0	0
	一酸化二窒素(N ₂ O) ※5	t -CO ₂		38	42	43
	フロン類(HFC)	t -CO ₂	※6 174	※6 69		590
	アセチレン(C ₂ H ₂)	t -CO ₂		5	6	6
	潤滑油・グリース	t -CO ₂		0	0	0
Scope2		ロケーション基準 t -CO ₂		154,882	157,682	★ 167,708
		マーケット基準 t -CO ₂		94,077	83,035	★ 80,063
原単位(マーケット基準)		t -CO ₂ /億円		45	39	※4 —
電気	ロケーション基準	t -CO ₂		153,883	156,724	166,770
	マーケット基準	t -CO ₂		93,079	82,076	79,125
蒸気		t -CO ₂		999	958	938
NOx		t		20	20	25
SOx		t		0	0	0
化学物質						
PRTR		kg		8,442	7,563	8,657
排出先別	大気	kg		3,898	1,784	3,475
	公共用水域	kg		4,544	5,779	5,182
VOC		t		119	139	140
水 域						
総排水量		千m ³		3,523	4,016	4,248
排水先別	河川	千m ³		2,549	2,880	2,926
	下水道	千m ³		973	1,135	1,322
水消費量		千m ³		845	1,081	1,123
BOD		t		135	210	300
廃棄物+有価物		t	※6 21,275	※6 23,294	★ 26,838	
廃棄物		t		4,880	5,453	6,491
有害	有効利用物	サーマル	t	85	90	99
		マテリアル	t	989	1,115	1,725
	非有効利用物		t	—	—	48
非有害	有効利用物	サーマル	t	158	189	223
		マテリアル	t	3,630	4,041	4,227
	非有効利用物		t	18	17	168
埋立て(廃棄物の内数)		t		3	5	★ 184
有価物		t		16,395	17,842	20,347
有効利用率		%		99.9	99.9	99.2

集計範囲

新光電気グループ(国内+海外生産拠点)

端数処理により合計が合わない項目があります

※4 資本構成の変更に伴い、原単位算定に用いる財務数値が当社事業実態との比較に適さないため、2025年度の原単位は開示対象外

※5 工場廃水の処理やし尿処理に起因するメタン及び一酸化二窒素の排出は算定対象外

※6 国内のみ

サプライチェーン排出量 (GHGプロトコルスタンダードに基づく温室効果ガス排出量)

★：第三者保証対象指標

排出項目			排出量(t -CO ₂)			
			2023年度	2024年度	2025年度	
上流	Scope3	1 購入した製品・サービス	163,604	※7 ※8 203,687	★ ※7 194,134	
		2 資本財	184,913	※8 83,972	8,821	
		3 Scope1, 2に含まれない燃料 および エネルギー関連活動	31,969	※8 34,764	35,762	
		4 輸送・配送	11,529	※8 9,107	10,393	
		5 事業から出る廃棄物	660	※8 666	775	
自社	Scope1	直接排出	45,737	48,411	★ 50,542	
	Scope2	エネルギー起源の間接排出	ロケーション基準	154,882	157,682	★ 167,708
			マーケット基準	94,077	83,035	★ 80,063
	Scope3	6 出張	309	※8 366	410	
		7 雇用者の通勤	8,460	※8 7,292	7,092	
		8 リース資産	対象外	対象外	対象外	
下流	Scope3	9 輸送・配送 ※9	未算定	30,043	16,991	
		10 販売した製品の加工 ※9	未算定	244,702	199,640	
		11 販売した製品の使用	対象外	対象外	対象外	
		12 販売した製品の廃棄 ※9	未算定	2,439	1,361	
		13 リース資産	対象外	対象外	対象外	
		14 フランチャイズ	対象外	対象外	対象外	
		15 投資 ※9	未算定	128	128	
		Scope1 + Scope2 ※10		139,814	131,446	130,605
Scope3		401,444	617,169	475,510		

集計範囲：新光電気グループ(国内+海外生産拠点)

端数処理により合計が合わない項目があります

※7 算定精度向上のため、部材調達品の重量換算係数を適宜見直し。なお、データ入手の制約により、過去年度データの再計算は実施していない

※8 SBT基準に基づく算定方法の見直しにより、2024年度数値を遡及して修正

※9 2024年度分を含めて算定し、2025年度版より開示

※10 Scope2はマーケット基準により算定した値を集計

環境データ 算定基準

■環境負荷データ

INPUT

指標	単位	算出方法
エネルギー エネルギー消費量	GJ	Σ[電力の年間使用量+(燃料油、ガスの年間使用量)×エネルギー毎の熱量換算係数] 換算係数：環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(Ver6.1) (令和8年3月) Σ[蒸気の年間使用量×蒸気の比エンタルピー(全熱量)]比エンタルピー：1999日本機械学会蒸気表
エネルギー原単位	GJ/億円	エネルギー消費量/売上高
再生可能エネルギー由来の電力	購入電力 MWh 自社による発電 MWh	再生可能エネルギー由来の電力購入量(再エネ電力証書の購入を含む) 自社により発電し、消費した再生可能エネルギー量
非再生可能エネルギー由来の電力	MWh	化石燃料など枯渇性エネルギー由来の電力購入量
再生可能エネルギー使用率	%	再生可能エネルギー由来の電力/電力総使用量
化学物質	t	PRTR制度(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)対象物質と、電機・電子4団体の環境自主行動計画にて定めたVOC(揮発性有機化合物)20物質のうち、対象1物質あたりの年間取扱量1,000 kg以上の物質の取扱量合計(但し、特定第1種指定化学物質については年間取扱量500 kg以上) (集計範囲：新光電気グループ(国内))
水資源 総取水量	千m ³	上水道、地下水の取水量 (ただし消雪用の地下水は含まない)
リサイクル水量	千m ³	工場で使用した水を回収・処理し、再度工場で利用した水の量
リサイクル水使用率	%	リサイクル水量/(総取水量+リサイクル水量)

OUTPUT

指標	単位	算出方法
Scope1 原単位	t-CO ₂ /億円	Scope1/売上高
エネルギー起源	t-CO ₂	重油・ガソリン・軽油・天然ガス・都市ガス・LPG・LNGの使用によるCO ₂ 排出量 Σ[(燃料油、ガスの年間使用量)×エネルギー毎のCO ₂ 換算係数] 換算係数：環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(Ver6.1) (令和8年3月)
非エネルギー起源	t-CO ₂	非エネルギー起源CO ₂ ・メタン(CH ₄)・四フッ化炭素(CF ₄)・六フッ化硫黄(SF ₆)・三フッ化窒素(NF ₃)・一酸化二窒素(N ₂ O)・フロン類(HFC)・アセチレン・潤滑油・グリースの使用によるCO ₂ 排出量 Σ(各ガスの年間排出量×ガス毎の地球温暖化係数) 地球温暖化係数：環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(Ver6.1) (令和8年3月)
Scope2 原単位	t-CO ₂ /億円	Scope2(マーケット基準)/売上高
電気	t-CO ₂	電気の購入によるCO ₂ 排出量 電力購入量×CO ₂ 換算係数 ロケーション基準 換算係数： 国内 「電気事業低炭素社会協議会」調整後排出係数より 2025年度：0.422t-CO ₂ /MWh(2026年3月12日公表値) 2024年度：0.422t-CO ₂ /MWh 2023年度：0.437t-CO ₂ /MWh KSM 「温室効果ガス総合情報センター(GIR)」2024년 승인 국가 온실가스 배출 계수より 2025年度：0.4541 t-CO ₂ /MWh 2024年度：IEA国別値(0.4307 t-CO ₂ /MWh) 2023年度：IEA国別値(0.4558 t-CO ₂ /MWh) SEM 「Malaysia Energy Information Hub(MEIH)」Grid Emission Factor(GEF) in Malaysia 2022-2024より 2025年度：0.7600 t-CO ₂ /MWh 2024年度：IEA国別値(0.6286 t-CO ₂ /MWh) 2023年度：IEA国別値(0.6179 t-CO ₂ /MWh) マーケット基準 換算係数： 国内 電力会社ごとの排出係数(調整後排出係数)を使用 *環境省 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 「電気事業者別排出係数」より 海外 ロケーション基準と同様
蒸気	t-CO ₂	供給された蒸気の製造にかかるCO ₂ 排出量 Σ[供給された蒸気の製造に使用した都市ガスの年間使用量×CO ₂ 換算係数] 換算係数：環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(Ver6.1) (令和8年3月)
NOx	t	工場のボイラーなどから排出された窒素酸化物量 NOx濃度(ppm)×10 ⁻⁶ ×乾きガス排出ガス量(m ³ N/hr)運転時間(hr/年)×46/22.4×10 ⁻³
SOx	t	工場のボイラーなどから排出された硫黄酸化物量 SOx濃度(ppm)×10 ⁻⁶ ×乾きガス排出ガス量(m ³ N/hr)運転時間(hr/年)×64/22.4×10 ⁻³

指標		単位	算出方法
化学物質	PRTR	kg	PRTR制度(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)対象物質のうち、対象1物質あたりの年間取扱量1,000kg以上の物質(但し、特定第1種指定化学物質については年間取扱量500kg以上) (集計範囲：新光電気グループ(国内))
	VOC	t	電機・電子4団体の環境自主行動計画にて定めたVOC(揮発性有機化合物) 20物質のうち、対象1物質あたりの年間取扱量1,000kg以上の物質の排出量合計 (集計範囲：新光電気グループ(国内))
水域	総排水量	千m ³	公共用水域および下水道への年間排水量(消雪用の地下水は含めない)
	BOD	t	水質汚濁の程度をはかる指標で、水中の有機物が微生物によって分解される際に必要な酸素量 $BOD濃度(mg/l) \times 排水量(m^3/年) \times 10^{-6}$
	水消費量	千m ³	総取水量－総排水量 (GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード開示事項303-5による)
廃棄物+有価物		t	廃棄物および有価物の総排出量
廃棄物	有害 有効利用物 サーマル	t	日本の法規制での特別管理廃棄物のうち、サーマルリサイクル ^{※11} した量
	マテリアル	t	日本の法規制での特別管理廃棄物のうち、マテリアルリサイクル ^{※12} した量
	非有効利用	t	日本の法規制での特別管理廃棄物のうち、単純焼却もしくは直接埋立てした量
	非有害有効利用物 サーマル	t	有害廃棄物でない廃棄物のうち、サーマルリサイクル ^{※11} した量
	マテリアル	t	有害廃棄物でない廃棄物のうち、マテリアルリサイクル ^{※12} した量
	非有効利用	t	有害廃棄物でない廃棄物のうち、単純焼却もしくは埋立てした量
	埋立て(廃棄物の内数)	t	直接埋立ておよび中間処理後に埋め立てされる残渣物量の合計
	有価物	t	事業活動から生じた不要物のうち、有償で売却した量
	有効利用率	%	(廃棄物の内の有効利用物+有価物)/(有価物+廃棄物)

※11 サーマルリサイクル 焼却の際に生じる熱エネルギーを再利用すること

※12 マテリアルリサイクル 材料・原料として再利用すること

■サプライチェーン排出量（GHGプロトコルスタンダードに基づく温室効果ガス排出量）

カテゴリ		算出方法
上流	1 購入した製品・サービス	年度内の部材調達量(重量ベース)・生産委託金額×調達量・金額当たりの排出原単位 それぞれ 上位90%に相当する重量もしくは金額を対象に含む。10%分は推計し100%として算出。 排出原単位：・サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6 ・IDEAv2.3(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)
	2 資本財	当該年度の資本財に関する設備投資額×排出原単位 排出原単位：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6
	3 Scope1, 2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	購入した燃料やガスおよび外部から調達した電力の年間購入量×排出原単位 排出原単位：・サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6 ・IDEAv2.3(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)
	4 輸送・配送	①+② ①年度内に購入した製品・サービスの自社への輸送 輸送距離と車両の燃費から算出したエネルギー使用量×排出原単位 年度内の調達額上位90%に相当するサプライヤーを対象に含む。10%分は推計し100%として算出。 ②新光電気グループを荷主とする輸送 ・輸送距離と車両の燃費から算出したエネルギー使用量×排出原単位 ・輸送距離と貨物重量から算出したエネルギー使用量×排出原単位 排出原単位：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6
	5 事業から出る廃棄物	事業所が排出した廃棄物の種類・処理方法別の年間処理・リサイクル量×年間処理・リサイクル量当たりの排出原単位 排出原単位：・サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6 ・IDEAv2.3(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)
自社	6 出張	・移動手段別の交通費支給額×排出原単位 ・輸送人・キロ×排出原単位(自家用車による出張) 排出原単位：・サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6 ・IDEAv2.3(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)
	7 雇用者の通勤	Σ(輸送人・キロ×排出原単位) 排出原単位：IDEAv2.3(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)
	9 輸送・配送	下流の輸送・配送に係る活動量データの直接把握が困難なため、組織ベースの排出量データを用いた配分により推計。
	10 販売した製品の加工	中間製品の加工に係る活動量データの直接把握が困難なため、組織ベースの排出量データを用いた配分により推計。
	12 販売した製品の廃棄	販売した製品の廃棄に係る活動量データの直接把握が困難なため、組織ベースの排出量データを用いた配分により推計。
	15 投資	・投資先のGHG排出量(Scope1・2)×株式保有比率 ・出資残高×セクター別資本回転率×排出原単位 排出原単位：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer.3.6 出所：政府統計の総合窓口(e-Stat)